

令和3年度
事業報告書

川崎医療短期大学

(学校法人川崎学園 令和3年度事業報告書より抜粋)

2. 事業の概要

(1) 主な教育・研究の概要

(a) 教育目標

- ・ 健やかな心と体をもつ
- ・ 医療福祉の専門的知識・技能を身につける
- ・ 自ら学び続ける精神をもつ
- ・ 多様な人々を理解し共感する心を育む
- ・ 医療福祉人としての高い倫理観と責任感をもつ

(b) 3つのポリシー

ディプロマ・ポリシー

川崎医療短期大学では、所定の単位を修得し、次のような能力を備えているものに対し、卒業を認定する。

1. 医療福祉社会の担い手として、健全な心身を育てている。
2. 医療福祉の専門的な知識・技能を身につけており、社会の発展に寄与できる力を有している。
3. 修得した知識・技能により、新たな課題を発見し解決できる力を有している。
4. 他者の在り方を尊重し、支援、連携、協働できる能力を有している。
5. 誠実で礼儀正しく、社会の規範を遵守できる倫理観を有している。

カリキュラム・ポリシー

川崎医療短期大学では、本学の目的を達成するために、次の方針に基づき、教育課程を編成している。

1. 教育課程の編成は、教育目標に適確に対応する構成とする。
2. 幅広い視野と専門的な知識・技術を備えた専門職者を育成するために、全学科の教育課程は「基礎分野」「専門基礎分野」「専門分野」の各科目を体系的、順次的に配置したものとする。
3. 専門職者として社会の現場で活躍できる実践力と応用力を体得できるよう、各学科の教育課程においては、多様な講義と実習科目や学外実習との整合性を図る。

アドミッション・ポリシー

川崎医療短期大学では、本学の目的を達成するために、以下の資質を持つ学生を入学者と求めている。

1. 医療や福祉の分野で活躍するために、その知識と技術を修得する意欲のある人
2. 病気や障がいのある人の気持ちを理解するとともに、その苦悩に共感できる人
3. 社会人としての良識や倫理観を身につけ、社会に貢献したいと願っている人
4. 他者の言葉に耳を傾け、適切に説明できるというコミュニケーション能力を持つために努力する人
5. 他の医療福祉人と連携して働くために、チームワークの能力を備えている人

(2) 中期的な計画及び事業計画の進捗・達成状況

- ・内部質保証の推進

ガバナンス・コードの策定、看護科のディプロマサプリメントの作成、教員活動評価票の見直し等、評価指標の整備も進めた。令和2年度の教員活動評価において、二次評価で学長による全教員の個人面談を実施し、活動状況を具体的に点検した。

- ・教育の質の充実

令和3年度から高等学校での履修状況や入学時の習熟度で選択できるような自然科学系の複合科目を配置し、従来の科目枠にとらわれない効果的なリメディアル教育を実施した。

看護科では、指定規則改正の趣旨に沿って本学の特徴を生かしたカリキュラムを構築し、医療介護福祉科では、令和3年度の指定規則改正に伴い、指定規則に対応した新カリキュラムでの授業を開始した。

- ・教育環境の整備

新校舎棟の建設工事は令和4年2月に竣工し、備品等の移設・配置に関する調整を行い、時間割調整や実習計画も含め、施設設備の有効かつ合理的な運営について検討を行った。2月末から3月上旬までに機器・備品等の搬入を終え、新年度からの授業に向けて環境を整備した。

- ・学科名称変更に伴う手続き

開学以来学科名称に「科」を用いてきたが、校舎棟新設を機に一般的な大学の呼称に合わせて、「看護科」を「看護学科」、「医療介護福祉科」を「医療介護福祉学科」に変更する手続きを行い、令和4年4月からの名称変更の準備を整えた。